「平和大通り公園の利活用のためのワークショップ」通信

この度は、「平和大通り公園の利活用のためのワークショップ」（第２回）にご参加いただきありがとうございました。
本通信では、このワークショップ結果の概要についてお知らせします。

第２号
２０２４年
９月発行

日　時：令和６(2024)年９月４日(水)18:30～20:30
場　所：合人社ウェンディひと・まちプラザ
参加者：23名

参加者の皆様には、「平和大通りの望ましい利活用に向けた課題への対応策と検証方法を考えよう」をテーマに意見交換していただきました。

■第２回ワークショップの目的とゴール

第２回ワークショップの目的とゴールを参加者全員で共有しました。

≪目的≫
平和大通り公園の望ましい利活用のためのルールについて、検証が必要なことを様々な立場から意見を出して議論。

≪ゴール≫
望ましい利活用のためのルールについて検証が必要なことや、その検証方法が整理される。
→社会実験やアンケート等に反映

■情報の提供　～昨年の社会実験等で分かった課題等～

昨年の社会実験や夏夜市の現地視察から把握された課題等について、広島市より情報提供がありました。課題として、音響への苦情、自転車での来場者の駐輪対応、利用者動線の交錯の防止などが紹介されました。また、光、ゴミ、においについては、会場周辺の沿道地域へのゴミの散乱状況は未調査であり、実際状況は把握できていないことが報告されました。

■グループワーク

グループワークの前に、市が検証したいルール等と検証内容(案)が５つ提示されました。(①～⑤)

① **音** …音響を使ったイベントの沿道住民と共存可能な実施方法の検証
② **自転車駐輪** …自転車でのイベント来場や路上駐輪の実態把握
③ **動線** …通行者とイベント来場者との動線の交錯や安全性の検証
④ **ゴミ** …イベント時のゴミ対策と効果の検証
⑤ **回遊性** …イベント時のまちなか回遊利用の実態把握

これらの項目のうち、①音、②自転車駐輪の２項目について、また各グループで検証が必要と思う項目について、課題への対応策、検証方法、アンケート等調査項目を各グループで議論しました。

≪グループワークでの主な意見≫

班名	項目	①音	②自転車駐輪	その他 検証が必要なこと
A班	課題の対策として考えられること	○住居のみでなく事業所等への対応が必要。 ○イベント開催時は場所の選定も必要。 ○大きめの BGM が継続的に流れているとキツイと思う。	○民間の協力。 ○登録利用駐輪場を一時利用としての開放。 ○ひろしま朝市では緑地帯の中に自転車をとめているが短時間で終わるため、特に問題は生じていない。	○障がい者への配慮と安全対策。 ○イベントによるバスやタクシー等への渋滞対策。 ○トイレ。 ○来訪者率を上げる PR。 ○町内会の協力。
	検証方法 調査項目	○スピーカを向ける方向により検証してはどうか。 ○生演奏はドラム以外では音は大きくない。 ○苦情件数で確認。 ○周辺住民などへの調査。日常的な音楽や、シチュエーション次第では苦にならない場合もある。	○周辺の歩道など場所を決めて１時間ごとなどで検証などの実態調査。 ○イベント以外との比較。 ○アンケートでは交通手段を聞く程度にとどめる。	○何らかの交通対策。 ○ライトアップの検証。

うら面へ

おもて面から

≪グループワークでの主な意見≫　つづき

班名	項目	①音	②自転車駐輪	その他 検証が必要なこと
B班	課題の対策として考えられること	○できれば音はなしに。年中となると辛い。 ○音響対策として、日比谷の野外音楽堂を参考。	○無料駐輪場が必要 ○側道の駐車場を一時的に駐輪場として活用	○慰霊碑のパンフ、説明板設置、案内ボランティア ○案内方法として被服支廠のオーディオガイドを参考に。 ○ゴミへの対応
	検証方法 調査項目	○音の質と騒音との関係性を検証 ○民地境界での計測のみでなく、建物の中で実施。 ○計測結果はリアルタイムで関係者が確認。	○駐輪実態の把握、ニーズ量の把握 ○自転車の利用状況、駐輪の状況	－
C班	課題の対策として考えられること	○音の種類だけではなく、時間帯や曜日への影響。 ○フラワーフェスティバル等の事例から学ぶ ○良い意味で受け入れてもらえるよう、事前相談が重要。	○イベント時は既存公共スペース等を駐輪場として使う。 ○使っていない賑わいエリアを駐輪場として開放。 ○駐輪場に停めることでお得な仕掛けをつくる。	○市で常設トイレを整備予定だが、イベント規模によってはイベント側で仮設トイレの設置も必要。 ○イベント来場者にトイレと駐輪場の案内は必要。
	検証方法 調査項目	○地元商店街、フラワー担当者からノウハウを学ぶ ○苦情が出る場所、時間帯を把握	－	－
D班	課題の対策として考えられること	○音量など一律に設定するのではなく、考え方だけ示しておき、主催者や地元の人たちとその都度話合い、臨機応変にできるようにするとよい。 ○事前の地域への説明によりトラブル防止できるのでは。	○自転車で来場を禁止するのではなく、自転車置き場を用意。	○先に制限するルールを作るのではなく、将来的に地域と事業者が連携して、平和大通りの魅力を向上することが必要。
	検証方法 調査項目	○色々な場所に音響を設置。 ○連続して音楽を流しクレームがきたのか調べる。	○自転車で来た人にどこに停めたのか記入してもらう。	○イベントの内容によって見直しがあってもよい（地元の人との話し合いで）。
E班	課題の対策として考えられること	○事前の周知による理解。周知により、自分のまちのイベント、公園だからと理解が進むきっかけになるのでは。 ○特区を決定する。	○社会実験会場に駐輪スペースを確保しては。 ○（自転車ではないが）搬入車両の動線や搬入スペースについて柔軟な対応が必要。	○樹木の管理をしっかりする。 ○比治山公園などからの展望を意識。 ○外国人向けのインフォメーションの充実。
	検証方法 調査項目	○音量をリアルタイムで確認。 ○調査範囲の明確化が必要。	○自転車でどこから来たかを聞く。 ○駐車（搬入時）・駐輪のスペース実験	－

■グループごとに議論した内容を発表し、会場全体で共有

音、駐輪対策、そして各グループで検証が必要と思う項目について、どのような対策や検証方法が考えられるか、グループワークで議論した内容を発表し、会場全体で共有しました。

地域へ事前の周知や、その都度話合い見直していく仕組みの大切さも感じられました。

今回出された意見を踏まえ、9/28(土)～29(日)の社会実験の検証内容やアンケート項目を広島市で設定します(別紙参照)。ご都合がつく方は、ぜひ社会実験に足を運んでみていただき、まちなかの回遊も楽しんで、現地での気付きをお聞かせいただけると幸いです。

第３回ワークショップのお知らせ

第3回ワークショップは、12月中旬ごろの開催を予定しております。日程が確定いたしましたら、ご連絡いたします。
第3回ワークショップでは、9/28(土)～29(日)の社会実験での検証結果を共有し、その検証を通じ公園利活用に向けた課題及び改善点などについて議論を進めたいと考えています。